



会長退任のご挨拶

会長 立花英司

この1年間、会員の皆様の多大なるご支援とご協力を賜り、なんとかこの重責を乗り切ることができましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

今年度は「よいことのために手を取りあおう」というRIテーマのもと、会員同士、そして地域社会との結びつきをより一層深めることを目指して活動してまいりました。

この1年間を振り返りますと、やはり最も大きな出来事は「クラブ創立50周年記念式典」の開催でございます。林50周年実行委員長をはじめ、実行委員会の皆様と一丸となって準備を進め、半世紀というクラブの大きな節目の年を、大盛況のうちに無事執り行うことができました。

また今年度も沢山の奉仕活動、友好行事を行わせて頂きましたが、皆様お一人おひとりがそれぞれの場所で「手を取り合って」全力を尽くしてくださったからこそ、充実した親睦と奉仕活動を実現することができ、ひいてはあの記念式典の大成功にも繋がったのだと確信しております。

同時に、チャーターメンバーとしてクラブの歴史を支え続けてくださっている谷口勉元会長、そして長年にわたりロータリーの発展に多大なるご貢献をされてきた北橋元会長をはじめとする諸先輩方へ、この場をお借りして改めて心からの深い感謝を申し上げます。

諸先輩方が脈々と受け継いでこられた大阪難波ロータリークラブの情熱と歴史の重みを、肌で実感した1年でございます。

そして、クラブの会員数も80名という素晴らしい大台に達しました。当クラブの力強い勢いと、何より皆様のクラブ愛の深さを深く実感いたしました。

会長として至らぬ点も多々あったかと存じますが、執行部を務めてくださった理事役員の皆様、そして会員お一人お一人の温かいお力添えに幾度となく救われました。皆様の支えがなければ、この50周年という大きな節目の年を、乗り切ることは決してできませんでした。

重ねて感謝を申し上げます。

いよいよ次年度からは、新たな半世紀の第一歩となる第51期、森田会長年度がスタートいたします。

森田新会長は、長年にわたり当クラブで尽力された。頼もしい方です。そのリーダーシップのもと、当クラブがこれまで培ってきた固い「チームワーク」が最大限に発揮されれば、次の50年に向けて、より力強く、素晴らしいクラブへと飛躍していくと確信しております。

私も一会員として、森田年度にご協力させて頂く所存です。

最後になりますが、皆様の益々のご健勝とご多幸、そして大阪難波ロータリークラブのさらなる発展を祈念いたしまして、退任のご挨拶とさせていただきます。

1年間、本当にありがとうございました。